

『低炭素な社会に貢献する基礎材料「鉄鋼スラグ」～環境に配慮した復興支援技術～』について講演します!!

みなと総研港友研究会 第4回講演が決まりました!!

○ 講演テーマ：『低炭素な社会に貢献する基礎材料「鉄鋼スラグ」

～環境に配慮した復興支援技術～』

ねばり強い港湾構造物、高台移転、多重防御など復興事業では、大量の土石材料が必要となってくるであろう。そこで、「人工石材」、「加工ブロック」、「カルシア改質土」、「震災がれき再生」など鉄鋼副産物を原料とした低炭素で環境に配慮した天然土石代替材料による復興支援技術を紹介する。

トピックスとして、ブロック基質材でのサンゴ産卵を環境親和性事例のひとつとしてご覧いただきたい。

○ 講師：^{まつもと}松本 ^{たけし}剛（JFEスチール(株)スラグ事業推進部副部長）

○ 日時：平成24年2月29日（水） 18:00～20:00

○ 場所：一般財団法人 みなと総合研究財団 3F 港友研究会

* 申し込みは先着順とし、定員 40 名とします。（申し込み先は下記をご参照下さい。）

* 開催日は、18:00 開演、1 時間講演、1 時間意見交換会、大会議室では 20:00 終了とします。

* 簡単な食事を用意いたします。費用負担 1,500 円をお願いいたします。

■企画主旨

○ 我が国の港湾の活性化に寄与することを目的として、「みなと総研港友研究会」では、「港」に関係し、あるいは今後関係しそうな話題について、自由闊達な情報及び意見交換の場を提供します。

○ 可能な限り話題の間口、幅、奥行きが大きくなるよう、「こうしたニュースの背景を知りたい」あるいは「こんな方のご意見を伺いたい」といった率直な思いで、適任な方をお招きします。

○ 講師には縦横無尽に語っていただき、当日のテーマを話題に参加者同士が自由闊達に意見交換できる場をイメージしています。

○ 今後の講演は、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

申込み・お問合せ先

東京都港区虎ノ門 3-1-10 第2虎ノ門電気ビルディング 3・4 階

一般財団法人 みなと総合研究財団内 港友研究会 E-mail: koyuken@wave.or.jp

^{やまもと}山本 (03-5408-8293) ^{はまたに}浜谷 (03-5408-8293)

テーマ	概要
第1回：平成21年8月19日 「世界初の波力発電システム」 米村 修治 様、 和氣 美紀夫 様（株式会社 HYPER DRIVE）	
第2回：平成21年9月9日 「地球温暖化から人類・生き物を救う」 杉本 幹夫 様（無有産研究所）	
第3回：平成21年9月30日 「真空技術が世界を変える」 高橋 茂吉 様（有限会社アサヒテクノ）	
第4回：平成21年10月30日 「貝殻利用技術が環境の世界を変える」 片山 敬一 様（海洋建設株式会社）	
第5回：平成21年11月11日 「生物と共生する工夫」 田中 ゆう子 様（東亜建設工業株式会社）	
第6回：平成21年12月10日 「外洋に丈が3,000mのスカートをはかす！」 角皆 静男 様（北海道大学名誉教授）	
第7回：平成22年1月27日 「海の赤鬼・青鬼退治」 井上 祥一郎 様（(株)名邦テクノ）	
第8回：平成22年3月5日 「海外工事における危機管理と阪神大震災」 鳥居 剛 様（東亜建設工業株式会社）	
第9回：平成22年5月12日 「石坂有紀子メンタルトレーニングセミナー」 石坂 有紀子 様（アランタ、シドニーオリンピック・ビーチバレー日本代表）	
第10回：平成22年6月11日 「コンクリートから“新しい”コンクリートへ・・・」 中西 敬 様（日建工学（株）顧問）	
第11回：平成22年7月8日 「マイクロバブル技術の概要と閉鎖水域底層の水質及び底質改善」 松尾 克美 様（中電技術コンサルタント(株)）	
第12回：平成22年8月20日 「電着&微弱電流を利用したサンゴ再生技術」 木原 一禎 様（三菱重工鉄構エンジニアリング(株)）	
第13回：平成22年10月19日 「木材・プラスチック再生複合材『エコMウッド』の技術と展開」 渡邊 厚 様（(株)エコウッド）	
第14回：平成22年11月18日 「ネットコミュニケーションの作法とバーチャル会議室（仮称）の提案」 白畑 友明 様 （(株)バス・コーポレーション、マルチメディアディレクター、東北芸術工業大学特別講師）	
第15回：平成23年1月25日 「クルーズ客船寄港における『おもてなし』の心」 中西 清二 様（宿毛市長）	
一般財団法人みなと総合研究財団発足（平成23年7月4日）	
第1回：平成23年8月8日 「3.11東日本大震災 東北地方整備局 かく戦へり」 宮本卓次郎 氏（当財団首席研究員）	地震津波災害の状況と、東北地方整備局が如何に対応したのか。 当財団宮本首席研究員が、当時の東北地方整備局副局長としての実 体験を踏まえて御紹介しました。
第2回：平成23年10月19日 「“夜明けは近い”みなと福幸支援シ ステム」 高橋 茂吉 （有限会社アサヒテクノ 代表取締役）	今回の震災による、みなとの福幸を支援するシステムで、下記の内 容について御紹介しました。 ①PANシステム②ガレキの除塩システム③みなとの岸壁修復工 事における、地下水位低下工法（例）④塩害処理システム⑤災害に 強い小井戸工法
第3回：平成23年11月14日 「津波ヘドロの再利用技術」～軟弱粘 性土の高効率改良技術～ 中川 雅夫 （新日本製鐵(株)スラグ・セ メント事業推進部部長）	カルシア改質材の特徴をはじめとして、海域・陸域での適用事例や、 東日本大震災の復興事業への利用も見据えた津波堆積ヘドロの改 質と改質土の利用提案について説明していただきました。